

こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

熊本市こども局 局長
木櫛 謙治



民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様方には、日頃からこども・子育て支援施策の推進に多大なるご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本市では、本年4月から第8次総合計画をスタートさせ、こどもが輝き、若者が希望を抱くまちを目指し、すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せとともに、困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援に取り組んでおります。

本年度は、妊娠・出産から子育てなどライフステージに応じた支援に加え、結婚の希望の実現に向けた支援の充実にも取り組んでおり、また、課題を抱えるこどもや若者に寄り添った支援など、きめ細かな支援を行っております。

このようなこどもを核としたまちづくりを着実に進めていくためには、こどもたちの健やかな成長を支える柱となっておられる民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様方との連携が不可欠でございますので、今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

熊本市民生委員児童委員協議会 会長
小山 登代子



日頃より市民児協へのご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。

活動強化方策にも取りあげている、こどもまんなか社会の実現に向け、こどもの身近な「大人」であり、子育て家庭の「応援団」として活動に取り組まれていることと思いますが、地域とのつながりを求めない人の増加、価値観の変化など「個人主義」が強まり、コミュニティのあり方は大きく変化しています。

しかし、子育てには衣食住だけでは満たされない「つながり」の大切さを、私たちは理解していますし、活動をとおして人と地域をつなぐことができます。人と人とが世代を超え「つながる」地域の姿が必要であり、そのつながりこそが、子育てしづらい社会を変える力を秘めていると考えます。

「つながり」は心の生活必需品、厳しい環境の中であるほど、人のやさしさは輝くものだと思っています。

最後は、風船を使った「おきあがりこぼし」を作製し、子どもたちの遊ぶしぐさに、目を細め一緒に遊んでいたいただきました。これからも「こどもまんなか」でこども支援をしていきたいと思っています。



「子育て」についての座談会では、「小さなこどもが遊ぶところが少ない」「色々な遊具の完備されたところがない」「気軽に育児相談をするところがない」など、多くの意見・要望が出されました。また北九州市の「子育てふれあい交流プラザ」のような遊びや子育て相談も併せてできるような施設要望もあり、副市長もひとつひとつ真剣にメモを取られていました。

力合・力合西民児協では「こどもまんなか月間」の5月23日に、熊本市の垣内副市長・こども局の木櫛局長の参加のもと、親子がふれあう和やかな普段の子育てサークルの様子を見ていただきました。

南区力合・力合西校区民児協
主任児童委員 赤松 律子

「子育てサークル」
リッキークラブ



第18号

令和6年11月発行
発行者 熊本市民生委員
児童委員協議会
会長 小山 登代子

〒860-0004
熊本市中央区新町2丁目4-27
熊本市社会福祉協議会内
☎096-288-2748



支えあう
住みよい社会
地域から

叙勲・褒章受章者あいさつ

中央区帯山校区民児協 米満美恵子



この度の藍綬褒章受章にさいしましては、各方面より温かいお祝いの言葉をいただき身に余る光栄と恐縮しています。

民生委員を引き受けてこれまで29年間、帯山民児協の仲間の皆さんと楽しく活動する事ができました。高齢者の方々と訪問して話をしていると、人生の大先輩からいろいろな事を教えてもらい、民生委員つていいなと思うことが度々ありました。

私たちは高齢者の皆さんが、いつまでも自分らしく元気で暮らしていけるように、サロンなどに誘って心と体の健康づくりをサポートしています。そこで皆さんの笑顔を見ると、とても幸せな気持ちになります。今、民生委員の成り手不足が全国的に深刻な問題になっていますが、大変じゃない楽しく活動出来るという事を発信していかなければと思います。

西区小島・中島・松尾校区民児協 小島とよ子



民生委員・児童委員とはどういう活動をするのかもわからず自治会長、老人会長より相談を受け断りできず受けてしまいました。返事をしてから、私にできるのか不安になりましたが、自分のできる事を気張らず皆様の協力のもと続けてきました。

令和6年に春の叙勲を頂いた事は思いがけない事でした。平成19年にふれあいサロンを立ち上げ、お年寄りの楽しみの場所をつくり、ささえりあ熊本西、自治会役員の方々に協力していただいて継続しております。あらためて、社会福祉協議会、ささえりあ熊本西、関係方々のお力添えに深く感謝しますとともに心よりお礼申し上げます。

◆叙勲・褒章受章者

令和5年秋の褒章

藍綬褒章 中央区(帯山) 米満美恵子

令和6年春の叙勲・褒章

瑞宝単光章 北区(城北) 小山登代子

藍綬褒章 西区(小島・中島・松尾) 小島とよ子

◆令和5年度熊本市民児協

被表彰者一覧

《社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰》

・東区(健軍) 細野美穂香

・東区(健軍東) 山隈 保美

・北区(弓削) 宮田みづほ

《全国社会福祉協議会会長表彰》

◎民生委員・児童委員功労表彰

・東区(健軍東) 山隈 保美

・北区(弓削) 宮田みづほ

《全国民生委員児童委員連合会会長表彰》

◎優良民生委員児童委員協議会表彰

・東区 泉ヶ丘校区民児協

◎民生委員・児童委員功労者表彰(2名)

◎永年勤続民生委員・児童委員表彰

九州社会福祉協議会連合会会長表彰 (9名)

熊本県社会福祉功労者表彰(熊本県知事表彰) (6名)

熊本市有功者表彰 (6名)

(58名)

(敬称略)

政令指定都市北九州市の子育て交流プラザ「元気の森」

～熊本市民児協会長視察研修～

令和6年5月21日(火)～22日(水)

北区武蔵校区民児協 中村 雪江

JR小倉駅から雨に濡れずに歩いて5分、AIMビルの3階と立地の良い場所に「元気の森」がありました。平成17年12月にオープンした1フロア・3,078㎡(半分遊びの広場)と恵まれた施設です。所長の高松様よりお話をいただきました。

4つのテーマがあるそうです。①子育てのスキル「親業」を学ぶ、②子育てを楽しむ、③仲間を作る、④親が輝く、リフレッシュする、キャリアアップする。それにより子どもを安心して産み育てる環境作りをしたいとの事です。

お話を聞いた後広々とした「遊びの広場」の見学をしました。使い込まれた手作り温かみのある木のおもちゃ等が沢山有り、楽しく遊ぶ親子がいて、その全体を見守る30人程度のスタッフがいらっしゃいました。

台風や大雨の時も多くの方々(最大収容人数500名)が、この「元気の森」を利用して安心、安全に過ごされたそうです。20年も前に先を見据えた少子化対策を進めてこられたことに感動を覚えました。

私達、民生委員・児童委員として「元気の森」から多くを学び何が出来るのか考えていきたいと思いました。





地域の子育て応援団

こどもまんなかスマイルフェスティバル開催

主任児童委員会 宮澤 矢良

令和6年11月8日（金）、熊本県立劇場演劇ホールに於いて、熊本市主任児童委員会創設30周年記念「こどもまんなかスマイルフェスティバル」が開催されました。

ホールでは記念式典やコンサート、キャラクターショーが行われ、ホワイエでは参加者の皆さんと一緒に遊べるコーナーや、これまでの主任児童委員のあゆみをパネル展示して、166組433名の親子の皆さんと、民生委員・児童委員79名、主任児童委員122名の多くの皆さんがイベントを楽しまれました。

まず、ホールで大西一史熊本市長をお迎えして30周年記念式典が執り行われ、その後、サプライズでくまモンが登場、一気に場を盛り上げてくれました。続いて、平成音楽大学こども学科の皆さんによるコンサートとなり、ホルンやフルートの演奏、童謡・季節の歌、カップパフォーマンスなど、こどもたちが喜ぶような演目がたくさん披露され、一緒に手遊び歌などを楽しまれていました。



最後に、NHK E テレでお馴染みの、はなかっぱキャラクターショーが行われ、はなかっぱやももかっぱちゃんたちが、楽しいショーを見せてくれました。

またホワイエでは、人権ブースでラブミンちゃんたちと一緒に遊んだり、らくがき広場で熊本県立大学のボランティアの皆さんも参加して、らくがきやシールを貼って楽しんでいました。他にも、eスポーツのコーナーでゲームを楽しんだり、保健師さんの子育て相談コーナーでは、体重や身長の計測や個別の相談など、思い思いに楽しまれている様子が見られました。

今回のイベントは、地域の子育て応援団として活動している私たちが、日頃から関わりのある親子の皆さんとともに楽しいひとときを過ごし、私たちの活動をたくさんの方に知って

いただき、少しでも地域での子育て支援につながればという思いで企画しました。イベントに参加していただいた皆さんが楽しんでいる様子や、こどもたちのはじける笑顔をとくさん見ることができて、私たちも嬉しい思いで一杯でした。

また、このイベントを開催するにあたり、多くの企業や団体からおみやげ品の提供をいただきました。心より感謝いたします。

これからも、地域の子育て応援団として、子育て中の親子の方々に寄り添いながら、楽しい活動につなげていくことができればと思います。

【写真：穀本純二（桜木校区民児協 会長）】



東区では校区で普段利用している公民館ごとにグループを作り合同サークルを行っています。

今年1月秋津公民館で秋津・桜木・桜木東・東町・山ノ内・若葉の6校区で、6月には東部公民館で泉ヶ丘・尾ノ上・健軍・健軍東・月出の5校区で「親子ふれあい体操」を開催しました。

こどもを抱っこしながらのスクワットや腹筋、すばやく横へ走ったりと講師のかげ声に合わせて息をはずませて楽しませていました。

日頃のサークルとは違い大人数での活動となり、親子で交流を楽しみながら体を動かしリフレッシュされて笑顔あふれるイベントとなりました。

東区子育てサークル

合同イベント

「親子ふれあい体操」

東区山ノ内校区民児協
主任児童委員 川崎由紀子

散歩のついでに イドバタcafé

出水南校区民児協

主任児童委員 佐藤 麻衣

中央区

自分たちの子育て経験や、ママたちの様子から、もっと気軽に話せる場、ひと昔前の『井戸端』のような場所を作れたらと思い、『イドバタcafé』を始めました。

参加された方は毎月開催しているわんぱく広場で顔見知りでもあるので、お子様たちも人見知りすることなく、同じくらいの月齢の子が交流するかわいらしい姿も見られ、「子連れで気楽に行ける場所が少ないから助かる」「仕事復帰後の子育ての不安を相談できた」「校区内にある習い事教室の情報が聞きたかったからうれしい」などママたちからもとてもうれしい感想を頂きました。

子育て中、特に専業主婦や育休中のママたちは、行動範囲や交流範囲が狭くなり、多少なりとも孤独を感じがちなのように思います。

そんなママたちがお散歩のついでにでも気楽に立ち寄れて、楽しめる場所になったらいいなと思います。



昔遊びで保育園児とふれあい

若葉校区民児協 角田由美子

東区

毎月第4週目の火曜日9時半、校区内の高齢の方が若葉コミュニティセンターに集まっています。

「おはようございます」

「変わりなかつたね」ひと月ぶりの元気な顔が見られます。民生委員による16項目の健康チェックの後、体組成測定に始まり看護師による血圧測定と健康相談、健康サポーターによる健康体操で体をほぐします。



教養講話やコース、eスポーツなど、毎月趣向を凝らしたプログラムが組まれています。こどもまんなか月間の5月、校区内のカトレア保育園児とのふれあいの時間を設けました。楠若葉の映える5月、訪れた20名の園児たちからかわいい元気な合唱の発表がありました。その後、参加者と園児が一緒になり、お手玉やけん玉、折り紙などの昔遊びを楽しみました。昔取った杵柄に「昔はもっと上手にできたけどねえ」「おつ、上手になってきたね」会場のあちこちでなつかしうに園児たちと談笑している姿が見られました。

こどもたちと触れ合うことが少なくなってきた今日、こどもたちの生き生きとした目の輝きと明るい笑顔に包まれ、「元気になるね」「次回も楽しみです」と、はつらつとしていました。この一年余り、男性の参加者も増え、楽しみのあるプログラムを計画していきます。

高齢者サロンに 母子も参加

桜木校区民児協 穀本 純二 東区

桜木校区では、月2回、桜木地域コミュニティセンターで開いている「高齢者サロン」に「赤ちゃんサロン」の乳幼児とそのお母さん方が参加する『世代間交流』を、この5月から実施しています。

きっかけは5月の『赤ちゃんサロン』に参加された母親の一人が、「地域に知った方がいないので、お年寄りのサロンにも参加したい」という申し出でした。高齢者の方々にお諮りしたら「大歓迎」の声。若いお母さん方にも声を掛け合ってもらい、すぐにスタートしました。最初はどのように接するか戸惑いもありましたが、高齢者の方々から積極的に声を掛けていただきました。

お母さん方からは、「お年寄りの方々が目配りをしてくれるので体操に集中でき、運動不足解消になります」「あのお年寄りは近くの方など、地域のことがわかるようになった」「ちよつとした育児のコツを教えていただける」などの声を寄せていただいています。また、お年寄りからは「若いお母さんの役に立つだけでも嬉しい」「赤ちゃんの姿を見て声を聞くだけでも、心が和む」と喜んでおられます。

まだ試行の段階なので至らぬ点もあるかと思っていますが、さらに楽しい地域づくりを目指して、創意工夫を重ねたいと考えています。



未来のママパパ教室

城西校区民児協

主任児童委員 池田 真帆

西 区

城西校区では、

熊本市立千原台高校の2年生全員を対象に、サークルに参加している親子との「ふれあい交流会」実施しています。母子父子とともに民生委員・児童委員と主任児童委員、保健師が学校に向き、家庭科の授業時間に、親子との交流、妊婦体験、人形を使つてのオムツ替えの体験を行います。



高校生と親子との交流ではお母さんとお父さんに、子育ての喜びや大変さを話していただきますが、高校生はとても興味深く聞いています。高校生に抱っこされて泣きだしてしまう赤ちゃんもいますが、高校生にとってはそれも貴重な体験です。

交流会の最後には、子育ては一人ではなくパートナーと協力してすること、辛いときは一人で抱え込まず周囲の人に助けを求めてほしいと伝えています。自分の住む地域の民生委員・児童委員の存在をより身近に感じ、将来ママパパになったときに子育てを応援する人が身近にいることを思い出してくれるよう活動を続けていきたいと思っています。

こんにちは！

お子様の誕生おめでとうございます！

「赤ちゃん訪問」「絵本プレゼント」

力合・力合西校区民児協 前田 哲明

南 区

令和6年4月から一時期お休みしていた赤ちゃん訪問を再開することになりました。赤ちゃんがお生まれになったご家庭を保健師さんが訪問しています。南区力合・力合西民児協でも市の保健師さんが訪問された際、後に民生委員・児童委員が訪問することを承諾されたご家庭へ訪問させていただきます。

乳幼児と保護者の方を対象に親子の集いの場としての、子育てサークル「リッキークラブ」や、地域の子どもたち・高齢者・子育て中のママさんたちとのふれあいの場としての地域子ども食堂（竹ちゃんち）などの地域活動をお知らせしております。また、本年度より子育て支援の一環として絵本のプレゼントを始めました。絵本は、赤ちゃんの心の栄養と言われます。絵本の読み聞かせは、親子で肌のぬくもりを感じながら言葉と心を通わすかけがえのないひとときです。赤ちゃんは、絵本を読んでもらいながら言葉とともにたくさんの親の愛情を受け取りこころ豊かに成長していきます。赤ちゃん誕生のお祝いに地域担当の民生委員・児童委員が絵本をお届けいたします。



福音館書店

収穫が楽しみ！ サツマイモ苗植え復活！

弓削校区民児協

主任児童委員 大橋 宏美

北 区

弓削校区子育てサークル「ゆげままクラブ」ではこどもの食育活動として、地域の方のご厚意により小学校裏の農地を使用させていただき、毎年5月にこどもたちとサツマイモの苗植え体験を行いました。しかし、コロナ禍や半導体会社TSMCの進出で菊陽町に近い弓削校区は住宅が増加し農地の減少により、長年行っていた苗を植える土地が確保できず、約5年間この活動を休止せざるを得ない状況にありましたが、今年の5月に再開。

今回は、7組の参加者で苗の植え付けを行いました。10月に収穫し、みんなで食べる予定です。食べ物の生産過程を知り、感謝する気持ちを持つことや、健康を保つ食事の重要性を知り、家族やお友だちと共に食事をする楽しさを伝えていくことは子育ての中でのひとつの支援だと感じています。



熊本菊陽学園を訪ねて

中央区民児協 岡本 恭典

中央区

中央区会長会では、6月3日市障がい者福祉センター「希望荘」のバスで菊陽町の障がい者支援施設「熊本菊陽学園」を訪問しました。

学園では田中健二郎理事長による起業の熱い初志と設立に到るまでのご苦労の経緯、更に将来に向けての計画の講話をいただきました。

その後は「第二熊本菊陽学園」に移動し「多目的作業棟」「すまいるホーム」などの各施設の説明をいただきました。作業している方々に気軽に「がんばるとるね」と声をかけられ、喜んでうなづく作業している方々の姿を見て、「創業の思いを形にして、各々出来る事を通して楽しく人を育てられとおられるな」と感銘を受けました。

終了時には作業員手作りのパンをお土産に頂きました。



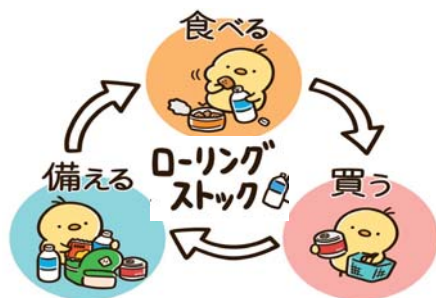
災害は、いつ起こるか わかりません。

そんなときのために、備えておくことは とても大切です。

もし、避難することがあったら、防災おかしポシエットを持って行ってください。

おかしの賞味期限が近づいたら、災害がなかったことに感謝しながら食べましょう。

そして、新しくおかしを入れておきましょう。



健軍東校区社協及び民児協では高齢者ふれあいサロンで防災ポシエットを作製し、健軍東小学校1年生へサロン参加者からプレゼントしました。地域の高齢者の方、児童のたくさんの笑顔が見られ幸せな時間が過ごせました。



みんなの笑顔のお守り

防災おかしポシエット

健軍東校区民児協 木下 鉄也

東 区

いづもまんなか社会に おける大人の役割

春日校区民児協 中島 花江

西 区

令和6年6月12日、

西区民児協全体研修会では、熊日「スマホの向こう側」連載中の熊本市立出水南中学校田中慎一朗校長先生を講師として迎え、いじめ・不登校・少年非行・子どもたちのインターネット・ネット利用等で困っていることを事例も含めての講演いただきました。

講演後のアンケートからは「先生のネット相談室『帯中ハウス』の取組みが素晴らしい」「社会が進歩する反面、子どもたちが犠牲になっていることを気づかされた」等多数の意見がありました。「関心」と「監視」の違い、「注意」は会話ではない。大人の意見を言うのではなく子どもの想いを聴くこと。民生委員・児童委員、主任児童委員として、こどもに寄り添える大人の役割を伝えられるよう取り組みたいと思います。



こどもを取り巻く諸問題について ブロック研修会(飽田中学校区)

飽田地区民児協 伊佐坂光輝

南 区

地域と小・中学校における子育て支援状況について情報を共有し、今後地域における子育て支援活動につながる契機となるよう研修会を実施しました。

内容は、①こどもの権利サポート、②こどもホットラインの状況、③こども家庭センターの設置、④不登校の現状について小中学校の校長、熊本市の関係機関の方々に出席いただきました。

不登校の現状については、学校内外を問わず、友人関係や家族・家庭環境の変化により、色々な不安材料がこども達の辛さの原因ではないかとの事でした。各小中学校の校長先生方も不安材料が多種多様で家庭環境等の把握に努めて、関係機関やスクールソーシャルワーカーと情報を共有し連携した対応に努めているとのことでした。

民生委員・児童委員として家庭環境の情報収集や見守り活動の重要性を痛感した有意義な研修会となりました。



人吉農芸学院への視察研修

北部東校区民児協 前田八千代

北 区

2月末、「人吉農芸学院」への視察研修を実施しました。いつもとは違う緊張感を感じながら予定の時間に学院に着くと、施設見学のあと、「少年院」についての説明へと進みました。「少年院とは決して未成年者対象の刑務所ではなく、家庭裁判所の決定により保護処分として少年院送致となった少年を収容する法務省の施設である」施設見学は開錠、点呼、施錠を常に繰り返しながら進み、居室の窓には全て柵があり、この施設が何であるかを表しており、胸が締めつけられる思いでした。罪を償う施設ではなく適切な矯正教育を受けて社会復帰を目指す施設であり、「生活・教科・職業・体育・特別活動」の指導が設定され、円滑な社会復帰に向けた標準11カ月の矯正教育が実施されましたが、再犯はあるということでした。生い立ちや交友関係を考えると、彼らを取り巻く生活環境の中で苦しんだ少年たちであると感じました。

きびしい環境にいるこどもたちに、今以上に心を寄せ、温かいまなごしを向けていく必要があることを教えていただいた研修でした。

人吉農芸学院



土を耕し、心を耕す

熊本市民児協インスタグラム始動！

皆さん、インスタグラム（Instagram）はご存知でしょうか。

写真や動画を気軽に投稿することができるSNSの1つで、宣伝や広報の一環として企業や店舗でも多く利用されています。ある調査では10～20代の若い世代の8割近くが利用しているとの結果もあり、若い世代へのPR効果が大きいに期待できます。

今年の4月から熊本市民児協でもインスタグラムを開設し、民生委員・児童委員、主任児童委員の活動紹介を始めました。写真や記事の投稿については広報委員会と主任児童委員部会が中心になって取り組んでいます。これまで紙面での広報活動が主体となってきましたが、これからの日本を担う若い方への民生委員・児童委員活動の理解促進、PRができるようSNSを活用した広報活動も行っていきたいと思えます。

皆さんも熊本市民児協のインスタグラムをぜひチェックしてみてくださいね。なおインスタグラムを使ってない方は熊本市社協のホームページにも同じ内容を掲載していきますのであわせてご確認をお願いします。



MINKYOKUMAMOTOCITY



11月 西区民児協の皆さん



5月 東区民児協の皆さん



銅像 記念碑

熊本城御幸坂の入口にある三角公園（さなかこうえん）に「民生委員の父」林市蔵先生の胸像と記念碑が建立されています。林市蔵先生は熊本市横手のお生まれであり、お墓も長国寺にあり、熊本は民生委員と縁の深い地となっています。

熊本市民児協では各区の民児協が定期的に記念碑周辺の清掃を行っています。記念碑の「となり」には加藤清正公の銅像もあり、市民会館や城彩苑の近くです。一度、訪れてみませんか？

三角公園清掃

編集後記

自然がもたらす大きな力の前に、私たち生きるものはどのように対処していけるのでしょうか。新年早々の能登地震、夏場の猛暑と豪雨、そして宮崎地震。現代の知力を結集しても逃れることのできない現実があります。これまで幾多の自然災害を経験してきた私たちは相互扶助の下、対処療法を駆使し乗り越えてきました。そして、新たな事態への備えを考えてきました。しかし「忘れないために」言葉だけが走り、実行の伴っていない事柄のなんと多いことでしょう。

超少子高齢化社会を迎え人口減少に拍車がかかる中、これからの日本を背負っていく世代、未来を築いていく子どもたちをしっかりと育てていかなければなりません。様々な機会に“参加”し、“創造”し“実践”していく。身近なところに視点を移してみましょう。

広報委員長 栢木 孝一

熊本市民生委員児童委員協議会 広報委員会委員

委員長	栢木 孝一（東区・若葉校区）
副委員長	宮澤 矢良（南区・天明地区／主児）
書記	高松 幸代（東区・託麻北校区）
委員	豊田 典子（中央区・出水南校区）
委員	浦郷 文子（西区・池田校区）
委員	前田 哲明（南区・力合・力合西校区）
委員	中村 雪江（北区・武蔵校区）

「個人情報管理は慎重に!!」

民生委員法には守秘義務が規定されています。保有する情報には十分気を付けましょう!!